

(お知らせ)

定期検査中の福島第二原子力発電所2号機圧力抑制室内における
部品の欠落および異物の確認について

平成19年4月12日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所2号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、平成19年4月6日より第17回定期検査を実施しておりますが、4月11日より圧力抑制室内のスプレイノズル*の交換作業を行っていたところ、本日午後1時頃、スプレイノズル先端部の部品1個(直径約2cm×長さ約1cm)が欠落していることを確認いたしました。

また、本作業において、別のスプレイノズルを取り外したところ、取り付け部からナイロン製のたわし(大きさ約10cm×約5cm・厚さ約5mm)を発見し、回収いたしました。

欠落した当該部品1個については、圧力抑制室内の清掃・点検を行い、確認することといたします。

今後、詳細に調査を実施いたします。

以上

*：圧力抑制室内のスプレイノズル

緊急時に圧力抑制室内に水を注入するためのノズル。なお、ノズルは60個あり、運転中に月1回の定例試験を行い、系統の健全性を確認している。